

Lead

All roads lead to the future リード



高知大学
Kochi University

コミュニケーションペーパー

2018 春号
Spring

No. 025

¥0
TAKE FREE

〈特集〉

そして地域の皆様へ

学長から、
学生の皆さんへ

Support 大学教育創造センター

e-ポートフォリオで
キャンパスライフを
もっと充実!

Labo通信

今までにない
「紙」を作り出せ!

まなびの時間

課題探求実践セミナー
国際協力入門

ぼくらのキャンパスライフ

高知大学生のキャンパスライフ

高知大学ニュース

研究分野においても、「地域をターゲットにしたものが主流です。つまり地域の皆さんと多数の地域課題が

高知大学は地域のエンジンになりたいと考えます。また、教育の基本として「地域協働型教育を進めます。すべての学部が県内各地を学びの場とし、また地域の皆さんを先生とし、地域の課題に取り組んでいます。それが高知大学の教育の基本であり、近年、それが見える形となって表れてきました。

考え方や生き方の指針を 高知大学の学びで見つける

先の見えない現代において、大手企業も次の一手に悩んでいます。学生のアイデアや大学の知見を活かしたいという企業側のニーズにこたえる一方、大学としても社会に今、求められている人材を育てることができません。県内企業だけでなく、全国の企業から講師を招くことになっていきます。センターでの活動は正規の卒業単位にはなりません。もっと才能やスキルを伸ばし、役に立つ人になりたいという意欲の高い学生に対して、一歩先が見える人材を育てようという取り組みです。ぜひ、多くのやる気のある学生が参加してほしいと思います。

PROFILE



大阪府出身。京都大学農学部農芸化学科、卒業。同大学院農学研究所、単位取得満期退学。農学博士。専門は土壌情報解析学、熱帯解析学など。1989年、高知大学に着任。「高校生の頃は外交官かミュージシャンになろうとボンヤリ考えていました。それが、「土壌」という地味な分野の学問をすることになって、しかも始めたら抜けられず…。なぜか研究者になっていました」

研究テーマとした共同研究をしています。そしてもうひとつは高知の自然環境を活かす研究です。山から海海底まで高知県は自然環境に関する研究テーマの宝庫です。現在、高知大学は「THE世界大学ランキング」で世界の大学のトップ4%に入っていて、特に研究力が高い評価をいただいています。今後も研究に力を入れるとともに、それを学生の教育にフィードバックしていくことが大切だと思います。

新入生、そして在校生の皆さん。大学は入学することが目的ではありません。自己実現をするための手段です。自分の生き方や考え方を見つけることができる場所が、大学という学びの場です。どうか、この思いを胸に、これからの大学生活を送ってください。



高知大学は「スーパー・リージョナル・ユニバーシティ」を目指します。



優れた人材を 社会に送り出す 人材育成が大学の使命

高知大学 学長
さくらい かつ 年
櫻井 克

高知大学では、平成27年度から始めた大規模な改組を昨年度終了しました。地域協働学部という日本で初めての学部を創設したほか、人文社会科学部、教育学部、理工学部、農林海洋科学部が新たに生まれ変わりました。この改組によって、高知大学は「地域の大学」として、先頭に立つて地域を支えていく組織づくりが整いました。今後は、この成果を出していかなければなりません。大学の一番の使命は、人材育成です。改組後の学生たちが卒業するのは来春からですが、「高知大学の卒業生は素晴らしい」と言ってもらえなければ、改組を行った意味がありません。

土佐さきがけプログラム

土佐さきがけプログラムの各コースが軸足を置く学問分野はそれぞれ異なりますが、いずれのコースでも、関連する様々な分野の学問を横断的かつ総合的に学ぶことができます。幅広い知識を統合して物事を考える力と社会への発信力を身につけ、現代社会が抱える様々な課題の解決に、グローバルな視点で積極的に取り組む人材に成長してくださることを期待しています。

運営委員長
いわさき こうぞう
岩崎 貢三

- 所属
総合科学系
生命環境医学部門・教授
●専門分野
植物生環境学

地域協働学部

地域協働学部では、学生同士、教員と学生、そして地域と学生による協働を通じて地域協働のリーダーを目指します。(1)実習では、地域の人たちとの協働を通じて、徹底的に地域に向き合ひ、600時間に及ぶ実践的学びを行います。(2)演習では、教室での学びと実習での学びを活かして「地域」や「協働」に関する自らの理論を構築し、それを学年末論文にまとめます。一緒に頑張りましょう。

地域協働学部長
うえだ けんさく
上田 健作

- 所属
総合科学系
地域協働教育学部門・教授
●専門分野
非営利組織論
公益事業論

農林海洋科学部

農林海洋科学部は、天然資源を活用して人間社会の食とくらしと環境を支えることを目標として、従来の農業に、莫大な未利用資源の存在が明らかになっている海洋科学の視点を加えて平成28年春にスタートしました。高知県は、山から深海に至る実学教育のフィールドが身近にすべて揃っており、この学問領域を学ぶに格好の地です。高知で過ごすことのすばらしさを自身で体感してください。

農林海洋科学部長
おがた つぶお
尾形 凡生

- 所属
自然科学系
農学部門・教授
●専門分野
果樹園芸学

医学部

医学はアートとサイエンスであると言われます。目の前の患者さんに対して真摯に向き合うアートとして医療を行い、ヒトの精神と身体の構造と機能をサイエンスとして追求してこそ、医学を実践する者となることが出来ます。地域医療の実践と最先端の医学研究は、実は表裏一体という医学のアートとサイエンスを共に探求していきましょう。

医学部長
すがぬま なるみ
菅沼 成文

- 所属
医療学系
連携医学部門・教授
●専門分野
産業医学、環境医学、国際保健学

理工学部

理工学部の皆さん、私が、大学の4年間で身につけて欲しいと思っている能力の一つに「課題発見・課題解決能力」があります。この能力は、共通教育、基礎と応用の両輪を学ぶ専門教育、課外活動、そして4年間の皆さんの日常生活を通して培われる総合力です。4年間の過ごし方次第で、卒業時の能力が決まってくるのです。様々なことにチャレンジして、充実した大学生活を過ごしてください。

理工学部長
すずき ともひこ
鈴木 知彦

- 所属
自然科学系
理工学部門・教授
●専門分野
生化学

教育学部

人は他人や人間の世界とかがわかることでのみ人として成長することができます。人の成長にかかわるためには、多様な他者や複雑な人間の世界に精通しておくことが必要になります。新入生の皆さんは、教育学部のカリキュラムのなかで、実に多様な他者や驚くほど複雑な世界に出会うことになるでしょう。4年後の皆さんの成長を楽しみにしています。

教育学部長
おかたに ひであき
岡谷 英明

- 所属
人文社会科学系
教育学部門・教授
●専門分野
教育哲学
教育史

人文社会科学部

人文社会科学部には、哲学・歴史・文学・心理学・経済・経営・法律など、いくつもの学問の扉があります。自ら扉を開いて、知的好奇心を呼び起こしましょう。ここには、多様な文化や社会を理解する機会があふれています。ぜひ、ものごとを多角的に考える力を育ててください。そして、皆さんが、国際的に、また地域で、いろいろな人と手を携え活躍する力をつけていくことを期待します。

人文社会科学部長
なかがわ かよ
中川 香代

- 所属
人文社会科学系
人文社会科学部門・教授
●専門分野
経営学

各学部
教授からの
メッセージ

大学生活のあれこれを記録できる「e-ポートフォリオ」は、入学から卒業まで高知大生をサポートするツールです。立川明先生に、活用方法について話を聞きました。

振り返ること、学びがもっと深くなる

e-ポートフォリオは、入学から卒業までの学びの成果を振り返ることができるシステムです。システムにアクセスすると、これまでの成績や履修科目のシラバスなどを見ることができ、目標を設定したり、サークル活動やアルバイトといった学外の活動も記録できます。パソコンのほか、スマートフォンからもアクセスできるのです。いつでもどこでも、気軽にチェックできる利便性も特徴です。

e-ポートフォリオは昨年度から導入されました。このシステムの狙いについて、小島先生は次のように説明します。



e-ポートフォリオで

キャンパスライフを

もっとと充実！

大学教育創造センター

Support

●小島先生「e-ポートフォリオでは入学時から卒業までの学びが可視化されます。しかも、授業のクラスの中で自分の位置づけがわかるので、モチベーションにつながるのではないのでしょうか」

在学中のサークルやボランティア、アルバイトなど、学外のさまざまな活動を記録する「コーナー」もあります。

●小島先生「学外での活動も、学生にとって成長の場のひとつと考えます。社会での経験も「10+1の能力」を身につける学びになるでしょう」

ほかにも、履修科目のシラバスや講義資料、進路希望状況や資格取得状況などの情報を集積することができます。今後、学部での学びをサポートするため、各学部の教育目標に合わせた学部独自のページも設けていきます。

情報の一元化で的確なアドバイスが可能に

「10+1の能力」を身につけるためには、e-ポートフォリオを学びの振り返りにうまく活用することがポイントです。1年と3年、4年時には「10+1の能力」を自己評価し、

定めています。これは各学部での学びに加えて、サークル活動やボランティア活動、あるいはアルバイトのような学外での活動も含めて、さまざまな経験によって身につくものです。そこで、実際に力がついているか、学生自身が確かめるためのツールとなるのがe-ポートフォリオです」

ポートフォリオとはもともと、レポートや論文、課題達成のために収集した資料や成績表

※10+1の能力とは

- 10
 - 表現力
 - 自律力
 - 倫理観
 - 論理的思考力
 - 課題探求力
 - コミュニケーション力
 - 専門分野に関する知識
 - 語学・情報に関するリテラシー
 - 人類の文化・社会・自然に関する知識
 - 1
 - 統合・働きかけ
- (10の能力を統合し、周囲や社会に働きかける力)



などの学修成果を記録していくものです。活用方法として注目してほしいのが、目標設定と振り返りです。まず、卒業するときに達成したいことを、長期的な目標として設定し、記録します。続いて、学期ごとに学修目標を設定し、各学期末、年度末は設定した目標に対してどれくらい到達したかを振り返り、記録していきます。

立川先生は説明しました。「e-ポートフォリオを上手に活用すれば、学びの目標設定(Plan)→実行(Do)→振り返り(Check)→改善(Action)の流れをつくることのできるようになるのです。学内・学外の活動を記録にとどめる

ほかにも便利な機能が備わっています。そのひとつが成績を確認できることです。履修した科目の成績のほか、学期ごとのGPA(成績評価の平均)の推移や修得単位数がグラフ化されているので、自分の学修成果がひと目でわかります。



●小島先生「面談では、大学生活をどのように送りたいのかや、学生が設定した目標に対して、どのような学修を進めればいいのかなどをアドバイスします。教員も一元化された学生の情報を見ながら対応できるので、一層、面談の内容が深まります。特に大学生活の折り返し地点である3年時に行う面談は、2年間、学んできたことを大きく振り返ろうというものです。2年間で培った強み、あるいは弱みを確認し、残りの大学生活で何をしなければならぬかを確認します」

自分が行ってきた勉強や活動の振り返りに便利なんです！

自分の歩みを記すことができ、e-ポートフォリオは、学びをサポートしてくれる卒業までの伴走者です。上手に、そして積極的に活用して、大きな成長を目指しましょう。



大学教育創造センター センター長 教育研究部 人文社会科学系 教育学部門 教授 小島 郷子

大阪府出身。福岡教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。修士(教育学)。1994年4月、高知大学に着任。「大学は、授業だけが学びの場ではありません。地域で様々な体験をして、e-ポートフォリオにどんな記録してくださいね！」



大学教育創造センター 教育研究部 総合科学系 地域協働教育学部門 准教授 立川 明

大分県出身。高知大学理学部化学科卒業。九州大学総合理工学研究科修士。工学博士(九州大学)。1989年、高知大学に着任。「大学での活動は、学びの貯金です。この積み重ねが成長につながります」

高知大学の歩み



Start! 1年

「まずは目標を設定する」

- 学生 10+1の能力 自己評価
- 学生 大学生基礎力レポート

- 学生 × 教員 リフレクション面談
- 学生 × 教員 リフレクション面談

リフレクション面談とはe-ポートフォリオを使った面談で、1年生の初め、1年生の終わり又は2年生の初め、3年生に実施します。

2年

「e-ポートフォリオを使った振り返りの年」

- 学生 × 教員

1年間行ってきたことを教員と共に振り返り、2年生以降の目標達成へ向けた動き方や勉強の進め方を検討します。

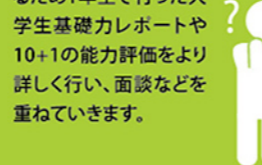


3年 (医学科は5年)

「自分の強みを自覚する」

リフレクションセメスター

3年生(医学科は5年生)は今までの勉強の成果、自分の強みを自覚する時期です。それをサポートするため1年生で行った大学生基礎力レポートや10+1の能力評価をより詳しく行い、面談などを重ねていきます。



学生 大学生基礎力レポート

- 学生 10+1の能力 自己評価
- 教員 10+1の能力 教員評価

学生 × 教員 リフレクション面談

この面談は、学生と教員がそれぞれ行った10+1の能力評価とe-ポートフォリオなどの内容を踏まえて実施されます。

4年 (医学科は6年)

「目標達成への仕上げ」

- 学生 10+1の能力 自己評価
- 教員 10+1の能力 教員評価

新入生向けe-ポートフォリオ説明会開催!

※開催の時間と場所は学部によって異なります。KULASのお知らせで確認してください。

- ご持参いただく物
 - 全学認証ID・PW
 - パソコン
- 4/7 ± / 医学部
- 4/10 ± / 人文社会科学部 / 教育学部 / 理工学部 / 地域協働学部 / 土佐さきがけプログラム(GS・IEP)
- 4/11 ± / 農林海洋科学部 / 土佐さきがけプログラム(LE)

卒業後 Goal!

「学生のその後を教育に還元する」

卒業生調査 目標達成!

卒業して1年後に高知大学で身につけたことや社会で必要な力を調査し、高知大学の教育に還元します。



今までにない「紙」を作り出せ!

「WOOD」

ラボ通信

木材化学研究室

教員 市浦 英明先生 × 学生 山本 純士さん

「木材化学研究室」では、どういった研究をしているのでしょか?

市浦 木村そのものの研究ではなく、木材に含まれる化学成分「セルロース」から作られる紙を主に研究対象としています。紙は通常、印刷用紙などの「書く(Write)」ための紙、ティッシュペーパーに代表される「拭く(Wipe)」ための紙、包装紙といった「包む(Wrap)」ための紙、これら3つが基本的な性能です。私の研究室では、他の何か新しい機能を付与し、より付加価値の高い「機能紙」に生まれ変わらせることを目指しています。

研究室で扱っている機能紙には、どういったものがあるのでしょうか? 市浦 たとえば、水環境下でも使える紙について研究しています。基本的には紙は水に弱いのですが、湿潤紙力増強剤という薬品を使用して、水に強くすることが出来ます。市販のティッシュペーパーに利用されています。しかし、この増強剤には環境に悪い塩素系の物質が使われているのが問題です。私たちは従来の製法に替わる手法の開発を行い、水に強い機能紙を作ることを目指しています。活性炭や光触媒を添加し、水環境浄化への応用を目指しています。

機能紙に関しては、日本の最前線の研究ができますよ



研究が実用化される。これが一つの目標です!

教育部 自然科学系 農学部 准教授 市浦 英明 福岡県出身。九州大学農学部卒業。九州大学大学院博士課程修了、農学博士。愛媛県紙産業研究センター特別研究員などを経て、2006年、高知大学に赴任。「私の研究をもとにして、実用化された商品もあります。高知は自分の研究に近い産業が身近にあるので、研究者として恵まれていますね」

付加価値をプラスした「機能紙」とは!?



機能紙の研究をしている大学は他にもありますか?

市浦 じつは全国でも少ないんですけど、うちの研究室に入れば、日本でも最前線の研究に触れられます。私たちの研究では、将来的に実用化された世の中の役に立つことを目指しています。すでに、高知県に多い製紙メーカーや大手の紙おむつメーカーとの連携も積極的に行っています。

山本さんがこの木材化学研究室に入った動機を教えてください。

山本 ぼくは高知県出身で、身近なところに森林がいっぱいあることから、森林科学コースに興味を持って入学しました。元々、紙自体に関心があったわけではありませんが、市浦先生のバイオマス利用に関する授業などで、学びうちに、紙のことをもっと知りたいと思うようになり、研究室に入りました。

どのような研究をしていますか?

山本 先ほど先生が説明された、水に強い紙の研究です。シートを環境に優しく、安全性の高いリン酸エステル化試薬に浸けることによって、水に強い

4年生の秋には、学会発表しました!

農学部農学科 森林科学コース 4年(取材時) 山本 純士

高知県出身。「紙のことをもっと研究したい」と、卒業後は大学院に進み、将来は紙関係の企業で働くのが目標。研究室では、細かい作業をコツコツと積み重ねて結果を出す。「実験が好きなのでしょね」と語る。



予想した結果が実験のEYEのレポートに!

「実際に、駐輪禁止の張り紙を張ったり、キャンパス内のごみ拾いを行ったりするんですよ。『なぜ、こんなことをしなければいけないの?』と学生たちが思ってくれるところから、問題意識が生まれます。私たちの身近なところにも協力が必要な問題がある、という大事なことを考える機会になります」

市浦 もちろんです。山本君の卒論ももうすぐ完成するので、今度は3月に京都で開催される全国規模の木材学会で発表する予定です。優秀な発表には「ポスター賞」も授与されます。内容をさらに深くして発表しような。

市浦 ももちろんです。山本君の卒論ももうすぐ完成するので、今度は3月に京都で開催される全国規模の木材学会で発表する予定です。優秀な発表には「ポスター賞」も授与されます。内容をさらに深くして発表しような。

山本 はい。テーマをより突き詰めて、ちゃんとまとめられるように頑張ります。

森林科学コースの学びについて

森林は、地球の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、資源の高度利用を目指し、亜熱帯から亜寒帯まで多様な森林植生に恵まれた高知で、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。



課題探求実践セミナー

国際協力入門

“協力する”とはどういうことか考える

共通教育の初年次科目「課題探求実践セミナー」は、大学の学びをスタートするための助けとなる授業。課題が何かを見つけるとともに、「答えのない問題」や「すぐに答えが出ない問題」が存在することへの理解を促す講義です。

「大学での学びは、これまでのような“勉強”を経て“研究”に至ります。専門分野の中で自分がフォーカスしたい課題を見つけ、それに対する解決策を考えることが大切です。この学びの出発点となる課題探求とは何かを考えることがセミナーの狙いです」と説明するのは、セミナーのひとつとして今回紹介する「国際協力入門」を担当する石筒覚先生です。



“国際協力”というと、「なんとなく敷居が高い」と感じている学生が少なくないと石筒先生。「英語ができないとダメ」「すごく立派な人がやること」という認識を持たれがちですが、実はそんなことはないと話します。海外に行かなければ、国際協力はできないという誤解で、実は海外に出て取り組んでいる人はごくごく一部だとか。四国でも高知でも「国際協力はできる」という思いから、講座名には「四国から世界・持続可能な社会づくりに向けて」というサブタイトルがつけられています。「国際協力は特別な活動のことだと思っている学生がいますが、“協力する”という点で日本国内の地域活動と変わりはありません。だから、地域で協力ができない人に、国際協力はできないんですね。そこで、講義の9割は「協力」をテーマとし、“協力する”とはどういうことなのかを中心に考えていきます」

私たちにもできる国際協力って何?

キャンパスの中にも協力が必要な課題がある

授業では毎回、国内外で地域活動を行う団体や高知大の学生団体が講師になり、彼らの活動内容を通じて、ボランティア活動の意味や海外での国際協力などについて考えていきます。加えて、身近な活動にも目を向けてもらうため、例えばキャンパス内の駐輪問題やごみのポイ捨てなどについて、問題は何なのか、そしてその原因は何なのかなどについて探ります。

「実際に、駐輪禁止の張り紙を張ったり、キャンパス内のごみ拾いを行ったりするんですよ。『なぜ、こんなことをしなければいけないの?』と学生たちが思ってくれるところから、問題意識が生まれます。私たちの身近なところにも協力が必要な問題がある、という大事なことを考える機会になります」

「だからこそ、この講義を履修することによって、積極的に協力する人が現れないと持続可能な社会づくりはできないことを知り、自分なりの協力の仕方を考えるきっかけにしてほしいですね」と、学生たちの学びに期待を寄せています。

PROFILE

教育部 総合科学系 地域協働教育学部 准教授

石筒 覚

神奈川県出身。長崎大学経済学部卒業。大阪市立大学経済学研究科博士課程単位取得退学、経済学修士。「この授業を受ける皆さんは、ぜひ、考えることを楽しみ、自分とは違う意見を知り、受け入れる喜びを感じてくださいね」



先生に聞きました!



岡豊 キャンパス

好きな場所は食堂。食事だけでなく、講義の時間が空いた時も食堂で勉強したりしています。テニス部の先輩や同級生に会えるし、くつろげますね。



硬式テニス部の先輩は勉強のサポートもしてくれます



高知県内のいろいろな場所で地域の人と交流できる機会が豊富。地域医療の現状がリアルにわかるのが高知大学ならではの学びです。

●医学部

Q 看護学科を選んだ理由は？

医療職に就く親から仕事のやりがいについて話を聞き、中学生のころから将来は助産師になりたいと思って、看護学科を志望しました。1年生では看護の基礎について勉強しました。自分の目指していることにつながる内容なので、大切に学びたいと思います。

Q サークル活動はやっている？

硬式テニス部に所属しています。アルバイトもしているので、勉強との両立は大変です。でも気分転換になるし、先輩方や仲間との学科を超えた交流も楽しいですね。新入生の皆さんも、ぜひクラブやサークルに入ることをお勧めします。

Q 高知大学の魅力は何？

県内の健康イベントに参加したり、地域医療を学ぶ講座があったりと、高知大学は地域医療に力を入れていると感じています。附属病院で外来の患者さんと話す機会も設けられていて、医療の現状を聞くのも勉強になりました。地域の人と交流が持てるのが、魅力だと思います。



※学生の学年は取材時のものです。

将来の夢と大学の学びが繋がっていることを実感。

医学部
看護学科1年
もりた ちあき
森田 千晶さん
高知県出身

3年間学んできたのは、あらゆる水環境のメカニズム。どんな仕事でも役に立つ基礎をしっかりと身につけられます。

●農学部

Q あなたが学んでいることは？

上流から河口まで、流域すべての地域の水環境について、工学的に学んできました。研究室では都市水害を研究します。先生は中国から来られた方なので、日本人にはない広い視野を持っておられるのでは、とご指導いただくのを楽しみにしています。

Q キャンパスの好きな場所は？

物部キャンパスの図書館1階にある「グループワーク室」が好きです。話し合いながら勉強できるスペースで、試験前には必ず行って、友人たちと過去問などを解いています。そこに行けば誰かに会える、という感じがとても気に入っています。

Q 将来の目標は？

ざっくりした感じですけど、人のためになる仕事をしたいですね。どんな仕事であれ、大学で学んだ構造力学・水力学・土質力学の「三力(さんりき)」は、将来、必ず役に立つと先輩に教わりました。自分に何ができるのか、しっかり考えていきたいと思っています。



市街地から離れた静かな環境で、じっくり学びます。



物部 キャンパス

先生方との距離が近いところが良いですね。気さくな先生が多くて、講義でわからないところがあれば、後で直接教えてもらいに行くこともあります。



3つのキャンパスで学ぶ
3人の現役学生に、学生生活を聞きました。

農学部
農学科3年
ひがしかわ よしひろ
東川 義弘さん
京都府出身

ここはちよつと田舎。時間がゆっくり流れていきます。



商店街の活性化に取り組む学生団体「コンパス」の代表として頑張っています！



人文社会科学部
国際社会コース2年
おぎの 荻野なつれさん
沖縄県出身

これからの人生を変えるような学問の新たな出会いがここにあります。学べば学ぶほどその深みに興味は尽きません。

●人文社会科学部

Q 高知大学を志望した理由は？

高校生の時に1年間、タイに留学したことから、発展途上国の活性化に興味がありました。そこで、日本国内でも過疎化が進む中、盛んに地域活性化に取り組んでいる高知県ならば、学ぶことが多いだろうと思って、高知大学に進学しました。

Q あなたが学んでいることは？

2年生から、文化人類学のゼミに入っています。その学びの中で、各国や地域によって生活習慣や「文化」が違うのは当たり前だし、優劣をつけるものではない、ということ強く考えさせられました。まるで、自分の意識の中で革命が起こった感じです！

Q 将来の目標は？

人の可能性を広げられる人になりたいと思っています。発展途上国で、住民の生活の可能性を広げるような仕事につくのか。あるいは研究を続けて、次に文化人類学に触れる人たちの思考の可能性を広げるのか。これから考えて決めたいと思っています。

ぼくらの
キャンパスライフ
高知大生の今にエール!



文化人類学と出会って、将来のやりたいことが見つけられました。

朝倉 キャンパス

規模が小さいので、興味がある人とすぐ知り合えるのがメリット。メディアの森(図書館)で勉強することが多く、2階の自由閲覧コーナーが静かで穴場です。



全国ネットワーク化事業 平成29年度COC/COC+全国シンポジウム 「地方が描く日本の未来」(3/2~3)

3月2日(3日)、「全国ネットワーク化事業平成29年度COC/COC+全国シンポジウム」地方が描く日本の未来」を高知市内で開催し、全国の大学や県内自治体関係者約370人が参加しました。

本シンポジウムは、文部科学省が進める「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC/COC+)」の一環として、平成25年度から全国のCOC及びCOC+実施機関の取りまとめ校として開催してきました。

シンポジウムの初日は、脇口宏学長の開会挨拶、尾崎正直高知県知事の開催地挨拶(代読)、文部科学省の平野博紀大学振興課大学改革推進室長の挨拶に続き、立命館アジア太平洋大学の出口治明学長から、「日本の未来を考えよう」と題した基調講演が行われました。

「地域連携の長期的継続に向けて」をテーマにしたパネルディスカッションでは、清水健司岩手県政策地域部地域振興室専門員、梅村仁大阪経済大学経済学部教授、松田智生(株)三菱総合

研究所主席研究員によるプレゼンテーションや意見交換が行われ、未来の地域及び大学の在り方を深く掘り下げました。
2日目は、三つのテーマに分かれて分科会を開催し、各大学の取組事例について活発な意見交換が行われました。



出口 治明
立命館アジア太平洋大学長による
基調講演

平野 博紀 大学振興課大学改革推進室長による
文部科学省挨拶



パネルディスカッション



脇口 宏 学長による開会挨拶

卓越した学業等成績優秀者 授業料免除決定通知書交付式(12/27)

高知大学では、既存の授業料免除制度に加え、大学・大学院を卒業・修了する学生を対象に、優れた成績や研究成果を残した学生を「卓越した学業等成績優秀者」として、授業料の年額を免除する制度を設けています。



本年度は、学部学生12名、大学院生9名に免除決定通知書が交付されました。

文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム 「地域医療を支える四国病院経営プログラム」 実践力を備えた病院経営者を養成

大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻では、四国で唯一の修士課程公衆衛生学コースを平成29年度から開講しており、これを母体に、病院経営に特化したプログラムを立ち上げました。地域特性が高い病院経営では、ヒト・モノ・カネ・情報の経営4資源をバランスよく見定める経営の基本に加えて、地域の他機関との関係を良好に保つ「協調戦略」が必要となっており、本プログラムでは、今、求められているOODA(Observe(観察), Orient(方向付け), Decide(決定), Action(実行))を実践できる能力を備えた病院経営者及び現場責任者を養成していきます。 <http://www.kochi-ms.ac.jp/~koudo/index.html>



学生表彰(3/20)

3月20日に、学業、文化活動、競技会及び地域貢献等に顕著な業績をあげたと認められる個人・団体に対する学生表彰式及び附属学校園児・生徒表彰式を実施しました。

各研究分野の学会等で受賞した者、スポーツ大会で優秀な成績を取った者ら個人24人・7団体、附属学校の園児・生徒表彰6人・2団体が、脇口宏学長から表彰状と記念品を贈呈されました。

ミス高知観光キャンペーンレディー(高知市観光協会)に 本学学生2名が選ばれました

高知の魅力を全国にPRする「ミス高知観光キャンペーンレディー」(高知市観光協会)に本学の人文学部国際社会コミュニケーション学科3年の柳川若菜さんと医学部看護学科3年の森下つかささん2名が選ばれました。



左:森下つかささん 右:柳川若菜さん

高知大学古本募金はじめました!

読み終わった本で高知大学をご支援ください。

高知大学古本募金は、皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額が高知大学に寄附される取組です。古本募金を通じて集まった寄附金は「高知大学さきかけ志金」として受け入れ、本学の教育研究・社会貢献活動の向上のために役立てられます。

●募金方法

読み終えた本やDVDを、各キャンパス図書館に設置されている回収ボックスに入れていただくか、5冊以上で段ボール箱に詰めて、電話または専用ウェブサイトからお申し込みいただけますと宅配業者が伝票をもって引取に伺います。

●お申込み・お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-29-7000(受付9:00~18:00)
ホームページ <http://kishapon.com/kochi-u/>
運営協賛 古本募金きしゃぼん(嵯峨野株式会社)

「高知大学修学支援基金」への寄附のお願い

本基金は、修学意欲を持ちながら、厳しい家計状況によりそれを断念せざるを得ない学生に対して給付する奨学金として活用します。

●お申し込み・お問い合わせ

高知大学総務部総務課
TEL:088-844-8100 FAX:088-844-8738
E-mail:sj02@kochi-u.ac.jp
URL:<http://www.kochi-u.ac.jp/shugaku-kikin/>

「高知大学修学支援基金」及び「高知大学さきかけ志金」(教育・研究・社会貢献活動による支援)に寄附を行う際に、インターネット決済サービスによる「クレジットカード決済」、「コンビニ決済」、「Pay-easy決済」がご利用いただけます。



教育学部生涯教育課程 芸術文化コース 第17回 卒業制作展(1/23~28)

教育学部生涯教育課程の廃止に伴い、平成26年度入学生が最後となる同課程芸術文化コースとしての卒業制作展を1月23日~28日に高知県立美術館で開催しました。「Re.」をテーマに再生や復活をイメージし、学生たちが未来への希望を込めた西洋画、日本画、彫刻、デザイン、美術理論など約30点の作品を出品しました。今後は、これまで培ってきたノウハウを教育学部美術教育コースや地域協働学部デザイン研究室へ受け継いでいくこととなります。



第20回 青少年のための科学の祭典 高知大会(2/12)

2月12日、朝倉キャンパスで「第20回青少年のための科学の祭典 高知大会」を開催しました。本大会は高知大学教育学部に事務局を置き、教員と教育委員会や企業等が連携して、科学技術の振興と多くの青少年に科学の面白さを体験してもらうことを目的に毎年開催。会場は、親子連れなど1千人以上が来場し、29のサイエンスコーナーで、人気のバルーンロケットや温度で色が変化する液晶アクセサリーの作成など楽しみながら科学を学び、終日賑わいました。参加した小学生は、「生活に科学が結びついていることが面白かった。学校でも実験してみたい。」と元氣よく話していました。



高知大学で開催するイベントをご紹介します。

イベントインフォメーション Event information

2018
Spring

春号

4月11日(水) 春芸祭

時間 4月11日(水)…13:00～
場所 高知大学朝倉キャンパス TEL:088-844-8149

先輩と後輩、新入生同士の交流や部活・勉強・将来まで充実した学生生活を送ろうと意識を深めてもらうことを目的に開催します。部活案内、学生団体の活動成果発表などを行います。



8月4日(土)・5日(日) オープンキャンパスのお知らせ

平成30年度のオープンキャンパスは、8月4日(土)、5日(日)に開催いたします。企画の内容、日程等の詳細は、決まり次第、順次ホームページに掲載します。(7月上旬に掲載予定)



11月4日(日) ホームカミングデー

高知大学卒業生の皆様、第9回目となるホームカミングデーは、11月4日(日)に開催します。詳細は、7月頃に大学ホームページでお知らせする予定です。ぜひご参加ください。

様々な企画を準備して卒業生の皆様をお待ちしています。在学生も参加できます。お誘いあわせの上、お越しください。



「第8回」の記念講演 講師の清田明宏氏



平成30年度学年暦 (予定)

高知大学の授業等に関する年間スケジュールです。

4月～6月

4/3(火)	入学式
4/4(水)	新入生オリエンテーション
4/5(木)	在来生オリエンテーション
4/6(金)～9(月)	第1学期履修登録期間
4/12(木)	第1学期授業始

7月～9月

8/1(水)～7(火)	第1学期試験期間
8/4(土)・5(日)	オープンキャンパス
8/8(水)～31(金)	夏季休業
9/1(土)～30(日)	特別授業期間
9/20(木)	秋季修了式
9/21(金)～26(水)	第2学期履修登録期間

10月～12月

10/1(月)	第2学期授業始・創立記念日
10/6(土)・7(日)	南風祭(岡豊キャンパス)
11/3(土)・4(日)	黒潮祭(朝倉キャンパス)
11/3(土)	物部キャンパス1日公開
12/27(木)～1/6(日)	冬季休業

1月～3月

1/19(土)・20(日)	大学入試センター試験
1/31(木)～2/6(水)	第2学期試験期間
2/7(木)～28(木)	特別授業期間
3/1(金)～31(日)	学年末休業
3/22(金)	卒業式・修了式

メルマガ配信中!
月2回配信(第2・4金曜日)

高知大学からメールマガジンを配信しています。大学ホームページの「入試情報」「メルマガの登録はこちら」へ! 登録はこちら <http://daigaku.jp/kochi-u>



●お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



高知大学
Kochi University

高知大学総務課

高知大学

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

TEL.088-844-8643 FAX.088-844-8033

〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail:kh13@kochi-u.ac.jp

高知大学の最新情報を伝えたい

THE こうち ユニバーシティ CLUB

FM 高知
81.6MHz

毎週日曜日 放送中
(9:30～9:55)

高知大学のHPから過去放送分も視聴できます!

http://www.kochi-u.ac.jp/outline/kouhou/radio_fmkochi/

高知大学の教育、研究、地域貢献等のホットな情報をお届けします。

スポンサー企業

高知銀行/ソフテック/アークエステート

